



GISを活用した畑地かんがい施設管理について紹介します

(1/2)

今回紹介する団体： 水土里ネットかながわ、三浦市農協土地改良対策室

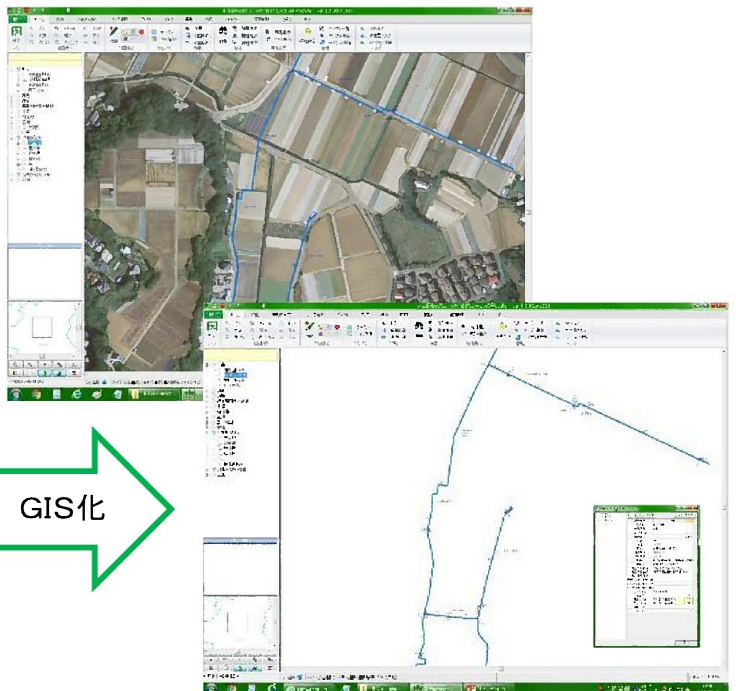
取組概要

内容：水土里情報システムによる畑地かんがい施設（以下、「畑かん施設」という。）のGIS化を行い、施設及び受益地の管理を行う。

経緯：神奈川県三浦市は、全国有数の大根・キャベツの生産地であり、県営事業による畑かん施設整備がなされている。畑かん施設の管理は、市農協内に設けられている土地改良対策室の職員が行っている。

畑かん施設の図面や工事記録等は紙媒体として管理されているが、職員の異動等により、施工当時の状況を知る職員が少なくなり、漏水等の緊急時に詳しい職員が不在の場合、図面探しに時間を取られてしまう等の問題があり、GIS上で管理する事となった。

既に整備された地区



GIS化

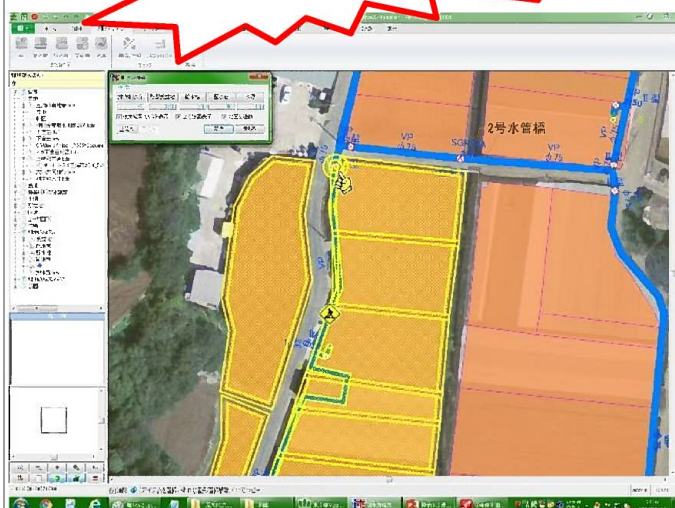
（紙媒体の図面や台帳等による管理）

（GISを活用した電子管理）

期待される効果

漏水等緊急対応時、誰が事務所にいても迅速な対応・連絡が可能となる。
膨大な紙媒体による情報を電子媒体で一元化して、誰もが使える情報とする。

緊急漏水時
仕切弁検索



仕切弁を瞬時に検索！！
影響受益地を検索して、
緊急連絡！！

写真台帳



工事図面



関連付け



紙媒体の工事
記録を電子化
して水土里情報
で管理閲覧

今後の活用予定

順次畑かん施設及び土地改良施設等の整備を行ない、工事年度等の情報から適切な更新計画の立案及び、農業水利施設の可視化に繋げる。

GISシステムのバージョン情報

GISアプリ : 水土里M aps ver7.1

GISエンジン : SIS ver7.1

■お問い合わせ先

神奈川県土地改良事業団体連合会 業務部 事業課

046-231-3242

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(愛宕、沖) 03-6744-2201(直通)